

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○物語文では登場人物の様子をよく読み取ることができる児童が多い。 ▲漢字を正しく書くことができない児童が見られる。	・自分の思いや考えを言葉に変えて、正しく順序立てて文章にする力	・単元で学習したことについて、まとめや振り返りを短い文章で書く活動をとり入れる。	
社会	○資料を読み取って、基礎的な知識を身に着けることができる児童が多い。 ▲資料をもとに、社会的事象に対して自分の考えをもったり、深めたりすることに課題がある児童がいる。	・資料から情報を読み取り、主体的に課題を解決しようとする力	・副教材に掲載されている資料の他、単元で取り扱う社会的事象について考えを深めるため、適切な資料を提示し、読み取る機会を設ける。	
算数	○基礎的計算問題など、解き方が分かったときはすすんで学習に取り組む。 ▲既習事項を応用して問題を解く力が低い。特に思考・判断・表現の観点では、正答率が低い傾向にある。	・既習事項の活用や応用して問題を解く力	・授業の冒頭などに、基礎的基本的な計算の反復練習ができる機会を設ける。	
理科	○観察、実験に楽しく取り組む児童が多い。 ▲学習して得た知識を事象と結び付けて考えることに課題がある。	・観察や実験で得た知識を様々な形で表現する力や、科学的知識を生活と結び付けて考える力	・観察や実験を通して得たことを十分に考察する時間を確保する。	
音楽	○リズム感があり、リズム活動での工夫の発想力も豊かである。 ▲器楽(特にリコーダー)の学習に対して意欲が低い児童が見られる。	・粘り強く学習に取り組もうとする力。	・リコーダーの指づかいを書き込んだ楽譜や簡易な楽譜を用意することで、自分に合う課題を選べるようにし、課題をやり遂げた経験を増やしていく。	
図工	○のびのびと楽しんで表現活動を行うことができる。 ○意欲的に作品に取り組むことができる。 ▲基本的な技能が身に付いていなかったり、発想が浮かばずに手が止まってしまう児童も見られる。	・創意工夫をしながら表現することの喜びを味わう力 ・豊かに発想し、その発想を広げながらつくる力	・道具の基本的な扱いや技法について、スパイラルに反復して指導していく。ワークシートなども活用する。 ・児童の興味関心の高まる題材を設定する。 ・児童への意欲を喚起するような導入を工夫する。	
体育	○楽しく運動し、力を出し切ることができる児童が多い。 ▲気持ちの切り替えが上手にできず、集合、整列などに時間がかかる。	・ルールを守り、安全に気を付けながら運動を楽しむ力や、諦めずに自分の力を伸ばそうとする力	・授業開始時に、今日の学習で安全に運動するために必要なことを全体共有し、単元の学習で、「がんばりカード」などを使い、自分の記録の変化を確認できるようにする。	